

レベルポインター施工例



仮止め例1

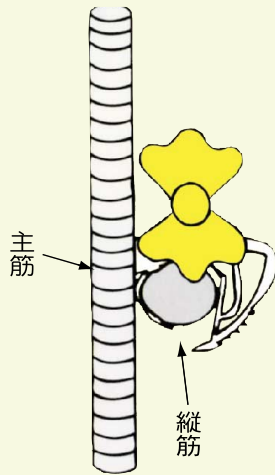
スタッフをあて、布高さより10mm短くし、仮固定を行う。

1. 仮止め(取付間隔は600mm(推奨)が目安です。)



仮止め例2

レベルポインターの被り厚みを目盛を目安にし、仮固定を行う。



真上から見た取付け位置

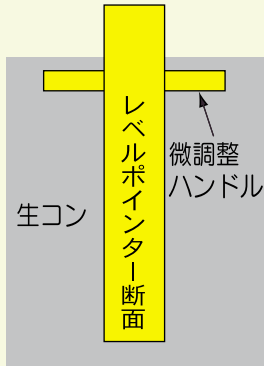


2. 固定

レンチで増し締めを行う。

(注)強く締めすぎると破損する恐れがありますのでご注意ください。

(注)製品脱落防止のため1.仮止め→2.固定の作業手順は必ず行って下さい。



《ポイント》
凝固時の沈下対策の為、微調整ハンドルより、やや上面まで生コンを打設する。



5. 生コン打設

パイプレーターで高さを調整しながら打設。



4. セット完了

アンカーセット時に誤差が生じません。



3. レベルを決める

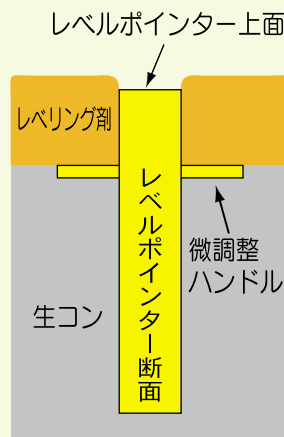
ハンドルを回しながら、基礎天端に微調整する。



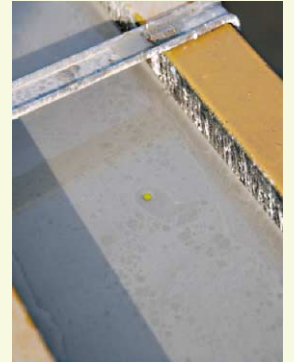
6. 生コン打設完了



7. レベリング剤流込



《ポイント》
凝固時の沈下対策の為、基礎天端よりやや上面に表面張力を利用して流込する。



8. レベリング剤流込完了

(注)凝固時ポインター上面の飛び出しが気になる場合は、ボードヤスリ等で削ってください。